

「クボ・イワ」：バリ<sup>とう</sup>島<sup>はなし</sup>のお話



お話を<sup>はなし</sup>書いた人<sup>か</sup>： Sherrene Chua (シュリーン・チュア)



むかしむかし、バリのキンタマーニに、とて  
も大きな人がいました。名前はクボ・イワで  
す。かれはとても大きくて、強いです。

ときどきクボ・イワは村の人を助けたり、家  
やお寺などを作ったりします。



クボ・イワはとてもよく食べます。でも、手  
つだ　あと　むらびと　ひやくにん　た　もの  
伝った後は、村人の百人ぶんの食べ物をほ  
むらびと　りょうり　じゅん  
しがります。村人たちはたくさん料理を準  
び  
備しないといけません。





た もの おこ  
食べ物になかったら、クボ・イワは怒りま  
むらびと いえ てら ぜん ぶ  
す。村人の家やお寺などを全部こわしてしま  
います。

た もの  
ある日、食べ物がありませんでした。それは  
いっ げつかん あめ  
1か月間、雨がふらなかったからです。



「ああ、おなかがペコペコ！ <sup>た</sup> <sup>もの</sup> 食べ物はどこ？ <sup>も</sup> はやく持ってきて！」クボ・イワが <sup>い</sup> 言いました。

「すみません、クボ・イワさん。 <sup>た</sup> <sup>もの</sup> 食べ物がありません。 <sup>あめ</sup> 雨がふりませんから。」となりの <sup>おんな</sup> <sup>ひと</sup> <sup>い</sup> 女の人が言いました。

「ゴロゴロゴロゴロ…」

<sup>おお</sup> <sup>おと</sup> <sup>き</sup> 大きな音が聞こえます。



クボ・イワは<sup>おこ</sup>怒って、みんなの<sup>いえ</sup>家をこわしました。<sup>むらびと</sup>村人たちはパニックになりました。そして、<sup>むらびと</sup>村人たちは<sup>けいかく</sup>計画を<sup>た</sup>立てました。

<sup>つぎ</sup> 次<sup>ひ</sup>の日、<sup>むらびと</sup>村人たちはクボ・イワの<sup>いえ</sup>家<sup>い</sup>に行きました。

「クボ・イワさん！ <sup>きのう</sup> 昨日のことは<sup>ほんとう</sup>本当にごめんなさい、<sup>きょう</sup> 今日は<sup>た</sup>すぐ<sup>もの</sup>食べ物をもってきますね。」



「でも、<sup>りょうり</sup>料理するのに<sup>みず</sup>水がいります。ク

ボ・イワさんは井戸を掘ってください。<sup>わたし</sup>私

たちは<sup>りょうり</sup>料理します。たくさんおいしい<sup>りょうり</sup>料理

<sup>つく</sup>を作りますよ。」

「<sup>にん</sup>200人ぶんの<sup>たもの</sup>食べ物がほしいぞ。」クボ・

<sup>い</sup>イワが言いました。

「はい、わかりました。」<sup>むらびと</sup>村人たちが<sup>い</sup>言いました。



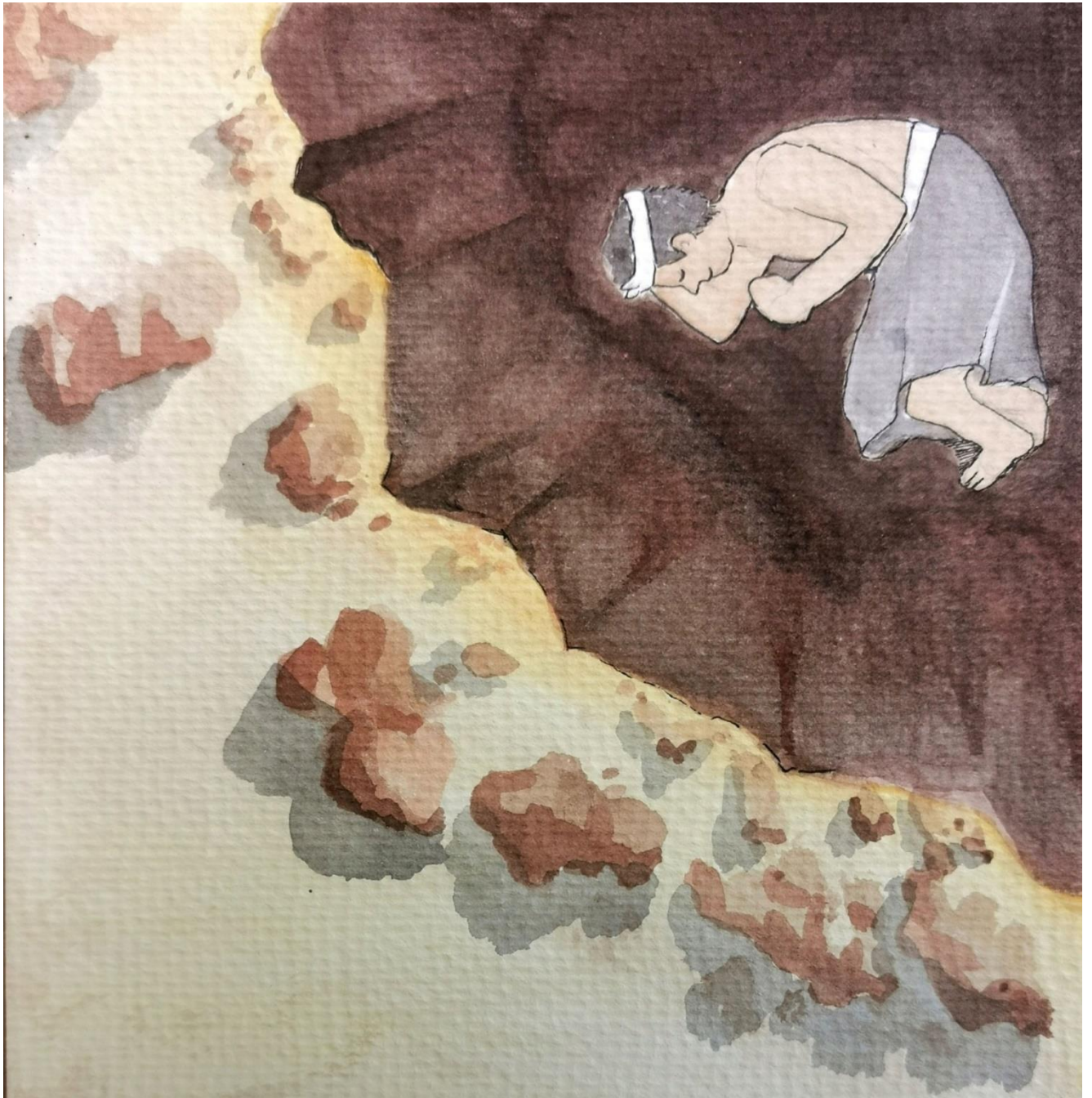
そして、クボ・イワが<sup>わら</sup>笑いました。

「<sup>はじ</sup>ハハハハハ！ いま始めるよ。」

クボ・イワは、<sup>なが</sup>長い<sup>じかん</sup>時間、<sup>い</sup>井戸<sup>ど</sup>を<sup>ほ</sup>掘りつづけ  
ました。<sup>じかん</sup>2時間、<sup>じかん</sup>3時間、<sup>じかん</sup>5時間。<sup>ご</sup>午後<sup>ご</sup>6時  
ぐらい、<sup>い</sup>井戸<sup>ど</sup>は<sup>ふか</sup>深くなりました。クボ・イワ  
は<sup>つか</sup>とても疲れていました。

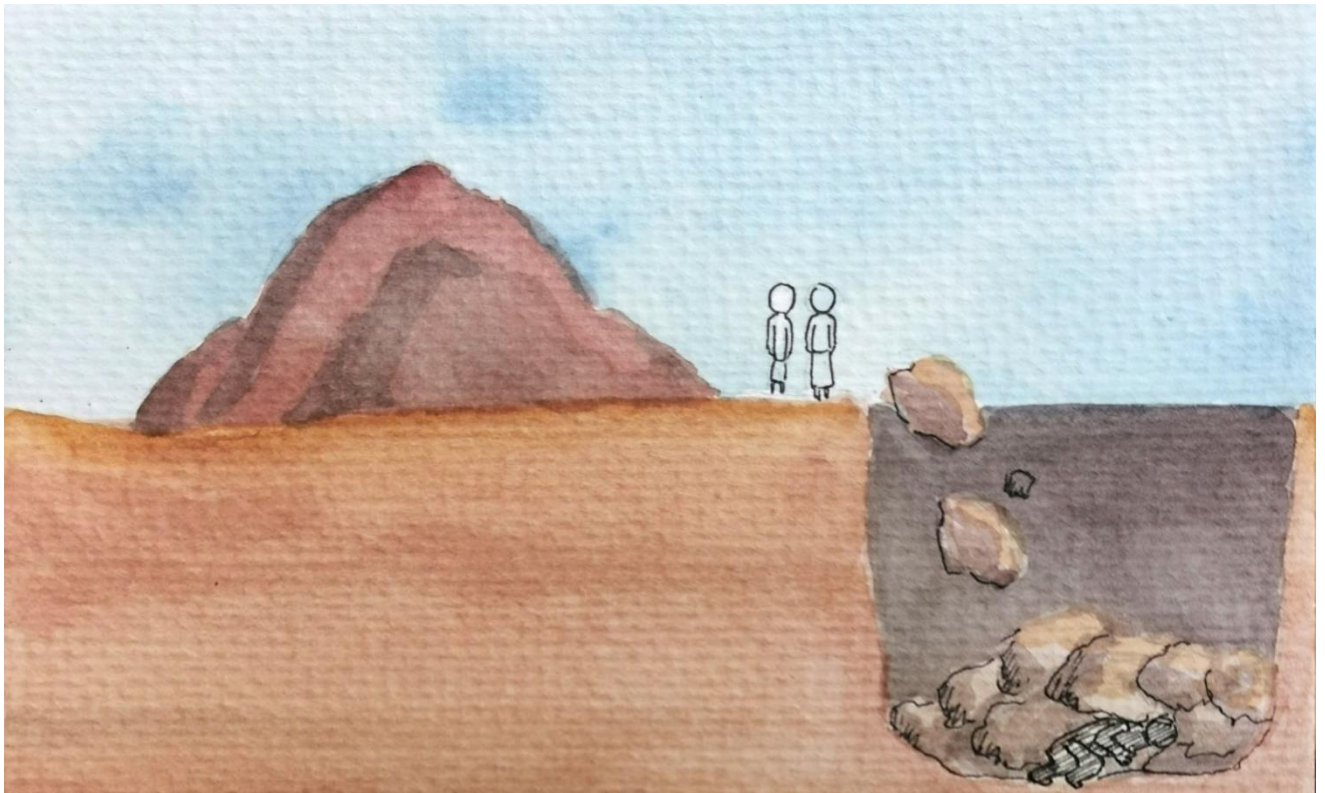






つか ぼく い ど ね  
「疲れた！ 僕はこの井戸で寝るぞ。」  
かれは言いました。





「はやく！ クボ・イワを埋めるぞ！」

むらびと  
村人たちはクボ・イワが寝ている時に、  
い  
言いました。「おう！」

つち いわ  
土と岩をたくさん井戸に投げました。ク  
ボ・イワは起きた時、からだが動けなく  
て、死にました。



そして、クボ・イワがなくなった井戸<sup>いど</sup>は  
バトウル湖<sup>こ</sup>になりました。かれが掘<sup>ほ</sup>っ  
た<sup>あと</sup>後の土<sup>つち</sup>がバトウル山<sup>さん</sup>になりました。

(バトウル湖<sup>こ</sup>とバトウル山<sup>さん</sup>の絵<sup>え</sup>)

